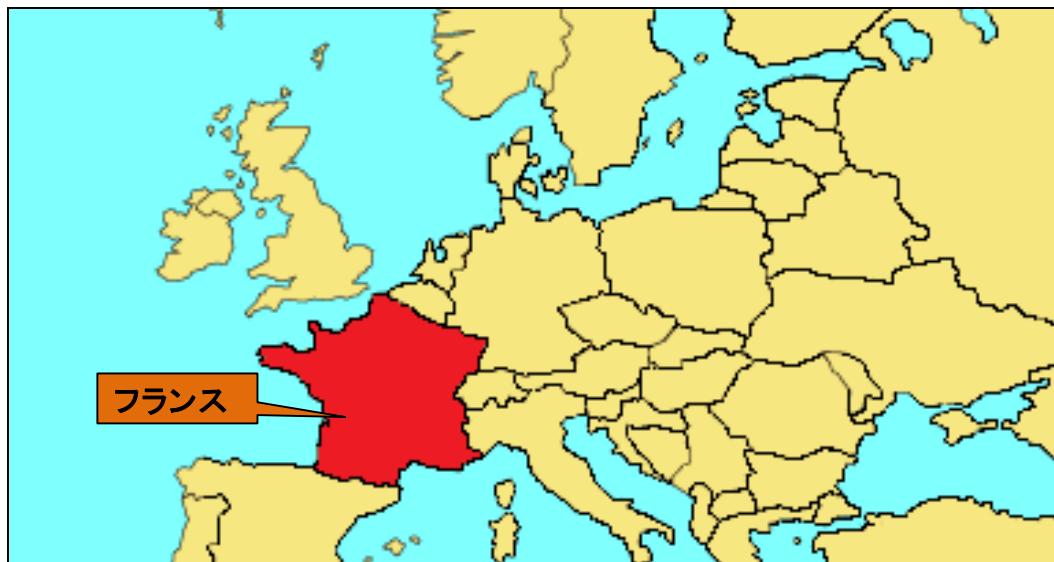


フランスで麻疹が流行

2010年7月1日 ProMED 情報(Famil.fr,(from Le Figaro))



同国保健監視研究所 (INVS)によると、麻疹患者は昨年の 1,544 名と比較して、今年は今までに 2,000 名以上が報告されています。患者の 10%は 1 歳以下の子供です。特に、流行の中心はリール Lille 市とボルドー Bordeaux 市近郊です。今年前半は、数回の麻疹の流行が、ヨーロッパ(ブルガリア、スペイン、アイルランド、ドイツ)で同様に確認されましたが、フランスで最も多く患者が発生しています。その他では、マラウイ、ブルキナファソ、南アフリカ、チャドなどの発展途上国で、多数の患者と死亡患者が報告されてきました。しかしこれらの国では、予防接種活動のおかげで、麻疹は制圧されたと見られています。

〔ProMED 調整者〕

6月24日の報告によると、2008年1月～今年5月31日までに、麻疹患者 4,120 名が報告されました。2007 年は数名が報告されました。確定診断された患者の発生率は、2008 年は住民 1,000 名当たり 0.95 名(麻疹患者 604 名)でした。2009 年は住民 1,000 名あたり 2.5 名(麻疹患者 1,544 名)に上昇しました。今年は今初の 5 ヶ月間で麻疹患者 1,972 名がすでに報告されました。麻疹ウイルスがフランス全土に広がっています。この期間に報告された患者は、ビエンヌ Vienne(22.4)、アペロン Aveyron(19)、ロワール・エ・シェール Loire-et-Cher(17.4)、ジェール Gers(15.2)、ロワール・アトランティック Loire-Atlantique(14.5)の 5 つの県で 100,000 名当たり 15 名の患者を超えました。反対に、19 の県と 3 つの海外領土では、患者の報告は全くありません。1月1日現在、年齢の中央値は 15 才でした。